

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS そがわ



○事業所名	COMPASSそがわ		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日	～	令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日	～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくれる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援がおこなわれております。	放課後等デイサービス計画も職員間に共有されており、計画に沿った支援が実施されております。	支援内容を具体的に把握し、児童の特性や個性への理解を深め、より良い支援につなげてまいります。
3	児童や保護者様からの申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、そのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しております。	ご相談やお申し入れに対しては、ご家族様の状況に応じて、臨機応変に対応させていただいております。	ご相談やお申し入れに対しては、そのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れがあった際に迅速かつ丁寧に対応してまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現時点では、学校卒業後の障害福祉サービス事業所等への移行に関する支援実績がありません。	対象となる児童が在籍していないため、移行支援の実施機会がありません。	今後対象となる児童が在籍した際には、関係機関と連携しながら、これまでの支援内容等の情報提供を適切におこなってまいります。
2	全職員が同時に参加する研修や会議の時間確保が難しい場合があります。	利用児童への支援を優先する中で、全職員が一斉に集まる時間の確保が難しい状況にあります。	利用児童への支援に配慮しながら、勤務体制や時間調整をおこない研修機会の確保に努めるとともに、資料共有やオンラインの活用により、全職員の資質向上に努めてまいります。
3	放課後児童クラブや児童館等との交流や、地域のこどもと活動する機会が十分に確保できておりません。	交流機会の設定や調整が十分におこなえていないためです。	保護者様からのご要望があれば前保護者様のご意向も踏まえながら、安全面に配慮したうえで交流機会の創出について検討し、地域とのつながりを深められるよう努めてまいります。向きに検討してまいります。



公表日：令和8年3月18日